

香港 デジタルガバナメント戦略 2 月

VE センター

1. 背景

・基本データ([JETROデータ](#))

国土: 1,106 平方キロメートル(東京都の約半分)

人口: 約 734 万人(2016)

政治体制: 中華人民共和国香港特別行政区

一人当たりの名目GDP: 33 万 8,806 香港ドル(43,661 米ドル)

GDP(名目): 2 兆 4,891 億香港ドル(3,208 億)

・[国連の世界幸福度ランキング 2020](#): 78 位

・[早稲田大学世界電子政府進捗度ランキング: 2018\(18 位\)](#)

・[Global Competitiveness Index 4.0 \(World Economic Forum\)](#) 2018 (7 位)

: 香港の社会状況が台湾、尖閣湾と拡大するのに対抗するデジタルガバナメント

[「香港激震 踏みにじられた一国二制度」\(時論公論\)](#)

日本時間の1日から反政府的な動きを取り締まる国家安全維持法の施行が強行された香港では、抗議デモに参加した人が1万人にも上り、およそ 370 人が逮捕されるという緊迫した事態になりました。

[尖閣周辺の領海を侵犯する「中国海警」の正体](#)

中国海警が中国の海軍力(海上武装力量)を構成する一部、すなわち軍隊の 1 つであることを中国自身が明確にしたことである。

[尖閣防衛 法整備論が再燃 自民部会、中国海警法の来月施行受け 政府の動き鈍く](#)

2. 戦略 1. デジタルデータ体制づくり

文書のデジタル化

 [HK Smart City Blue Print](#)



Source: www.smartcity.com.hk

[HK Smart City Blue Print](#) 2021.12

[e-Government Government's IT Strategy & Initiatives](#) 2021-2022

政府のITインフラは、政府通信ネットワーク、中央サイバー政府室、国民への政府サービスを向上させるためのデザインの大幅な強化を組み込んだ中央インターネットサービスなど、共通のアプリケーションやサービスの利用を促進することを目的として、中核となる政府バックボーン・ネットワークを通じて全省庁を接続して構築されてきた。結合された電子政府サービスの実施を促進するため、政府は、生産性を向上させ、製品及びサービスの質を向上させることを目的とした方法論、基準及びガイドラインを公布している。

1. [GovHK](#) ワンストップ政府ポータル

オンライン政府情報およびサービスへの一般市民のアクセスを容易にするために、政府は 2006 年 9 月にワンストップポータル GovHK を立ち上げた。このポータルは、

市民のニーズを満たすために開発され、継続的に強化されており、住民、企業、非居住者が頻繁に求める政府の情報やサービスの包括的な範囲へのより迅速で便利なアクセスを提供している。

2. 一般的に使用されている政府機関のオンラインサービス

政府機関のオンライン・サービスは、個人のプロフィールを作成したり、個人の好みを指定したり、興味のあるトピックに関する定期的な電子メールの更新を要求したり、その他多くの利便性を提供している。

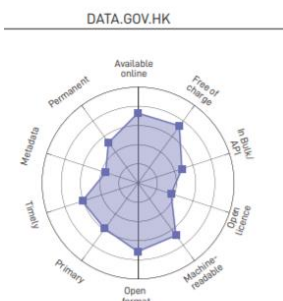
3. 一般的に使用されている政府の書式

最も一般的に使用されている政府の書式は、サービスの性質や日常生活の出来事からオンラインで検索することができるようになった。

ビジョン: アジアのデジタル先導都市を目指し、世界の金融ビジネスの核となる。

1. [Cloud Computing](#): クラウド技術を活用し、アプリ開発と提供をする。
2. [デジタル情報管理システム統合\(EIM\)](#): 情報技術(IT)の広範な利用とそれに伴う文化の変革を通じて効果的な情報管理を達成する。
3. [官公庁人事管理業務サービス\(GovHRMS\)](#): 各政府機関が共通のプロセス、データの連携を行う。
4. [スマートIDカード\(MASC\)](#): 移民機能と非移民機能の両方のための多くの政府のアプリケーションをサポートする。
5. [多機能スマート街灯 パイロットスキーム](#): 香港のスマートシティ開発を促進し、5Gモバイルネットワークの導入を支援する。

2) 戦略 2: デジタルガバナメント体制づくりの評価



[HONG KONG OPEN DATA INDEX 2019/20](#)

香港政府のオープンデータポータル data.gov.hk は他の政府機関の公開サイトよりも「オープン」ではない。他のサイトよりもデータセットが少ない。

主な発見:

- 香港政府のオープンデータポータルである data.gov.hk が、他の公共ウェブサイト比べて「オープン」でないのは、データセット数が少ないからである。
- このポータルには掲載されていないが、他のウェブサイトで利用できるデータセットの種類には以下のような項目がある。
入札募集、法案・立法、立法会議、政府の窓口、利害関係の表明、司法・判決、旅行警報、公営住宅(待ち時間や配分状況を含む)、ハイキングコース、風、降雨量の分布。

提案

-即実行

香港政府がデータのオープン性を向上させるためにすぐにできるいくつかのステップを提案する。

- ・機械読取式

データを人間が読むことも機械が読むことも可能な形で利用できるようにする。

- ・コアメタデータ

出版日、掲載期間、テーマ、キーワード、データの所有者や管理者などのメタデータ要素を補足する。

- ・コンテキスト

オープンデータポータルに公開されている各データセットについて、その内容、文脈、分析上の限界などを説明する。

- ・プライマリ

公開されているデータセットを監査して、その品質と精度を確認する。

- ・履歴

データセットが更新されたときに日付の入ったコピーをアーカイブし、安定した検索可能なオンラインの場所で利用できるようにする。

3) 戦略 3: オープンデータの活用を図る

[Data.gov.hk](https://data.gov.hk) は、様々なタイプの公共セクター情報 (Public Sector Information、PSI) を普及させるために、様々な政府機関と公共/民間組織の参加を得て、政府最高情報責任者 (CIO) 事務所が調整してる。そして、開発者が [DATA.GOV.HK](https://data.gov.hk) で公開されている PSI メタデータにプログラムでアクセスできるように、[CKAN](https://data.gov.hk) によって提供される API のセットを提供している。政府最高情報責任者室 (OGCIO) は以下の計画でデータを公開してゆく。

[Open Data Plan for 2021-2023](#)

- A. 2021 年に公開予定の各政府機関別データセット
- B. 2022 年、2023 年に公開予定の各政府機関別データセット
- C. 他の組織が公開を計画しているデータセット
- D. 進捗中、各部局や他の組織が既に PSI ポータルにアップロードしたデータセット

総合的な対策

データ公開プロセスをより良く管理し、それによってデータの可用性と使いやすさを向上させるために、政府が検討すべき、より包括的な対策を策定した。

4) 戦略 4: データの AI 利用

香港の AI の強みを認識し、政府は AI を重点的に取り組む技術分野の一つとして掲げている。これに関連して、ITB は 2017 年 12 月に「香港のスマートシティ青写真 20」を発表したが、これは、特に AI やその他の新興技術を活用して香港をスマートシティに構築することを提案している。政府は 2018-2019 年予算において、AI を金融技術、スマートシティ、バイオテクノロジーとともに、香港の発展のための 4 つの強み分野として挙げている。

[Study of development blueprints and growth drivers of artificial intelligence in selected place](#)

AI 中国の計画 2020-2030

同計画は、2020 年までに、中国の AI を世界水準にまで引き上げ、AI の応用と理論の重要な成果と、少なくとも 1,500 億元の「コア AI 産業」を実現することを目標としている。2025 年までには、AI の法規制の確立に着手し、インテリジェント製造、医療、農業、都市計画などの分野を含む、少なくとも 4,000 億元以上の AI 産業の中核となることを目標

としている。最後に、2030 年までには、中国が世界有数の AI 開発国となり、AI が生活に深く浸透し、中核産業が 1 兆元を超えることを目標としている。

[Next Generation Artificial Intelligence Development Plan \(2020–2030\)](#)

1. 高度なレベルの AI 技術、経済成長の重要な推進力となる 2020
2. 一部の AI 技術とその応用におけるリーディングレベル、基礎的な AI 理論のブレークスルー。2025
3. すべての AI の理論、技術、アプリケーションの世界的リーダーであり、グローバルセンターです。2030

4) 戦略 5: AI との共生体制作り-いつでも、どこでも、リアルタイム 5G

・香港は、2020 年 4 月 1 日に 5G サービスが商用開始した。サービスの持続可能な開発を確実にするために 5G 機器の設置、衛星地球ステーションとの共存、サイバーセキュリティスペシャリストの雇用、利用可能性、個人データの保護が必要となる。

・政府は、移動体通信事業者(MNO)による基地局設置に適した政府施設を 1,000 箇所積極的に開放しているが、業界ではもっと多くの場所が必要と考えている。

・5G が衛星地球局に干渉するという問題がある。現在、大埔とスタンレーは、衛星地球局は現在、3.5 GHz 帯域を使用しているので、干渉を避けるために、OFCA は大埔とスタンレーに制限ゾーンを設定して、この地域の 3.5 GHz 帯域で動作するモバイル基地局の開発を制限している。しかし、この制限区域は、香港中文大学や香港サイエンスパークでの関連研究開発作業や、70 万人以上の一般市民による 5G 通信の利用に影響を与える可能性がある。

・5G の設計は、必然的にサイバー攻撃やデータプライバシー侵害のリスクを高める。香港の現在の問題は、経験豊富なサイバーセキュリティスペシャリストの可用性にある。2018 年の IT 従事者 95780 人のうち IT セキュリティに従事者はわずか 1118 人(1.2%)であった。しかも、香港にはサイバーセキュリティ法も個人データ侵害の強制通知メカニズムもない。。コンピュータやインターネット関連の犯罪などの情報セキュリティの問題は現在、刑法の下で取り扱われている。



[5G propels HK into smart future](#) 2020.11.8

政府は、イノベーションとスマートシティの発展を促進するために、官民が早期に技術を利用できるように動機付けするために、5 月に第 2 ラウンドのアンチエピデミック基金の下で、5G の早期展開を奨励するための補助金制度を開始した。

香港の 5G 戦略

1. 香港は、2020 年 4 月 1 日に 5G サービスが商用開始した。サービスの持続可能な開発を確実にするために 5G 機器の設置、衛星地球ステーションとの共存、サイバーセキュリティスペシャリストの雇用、可用性、個人データの保護が必要となる。

2. 政府は、移動体通信事業者(MNO)による基地局設置に適した政府施設を 1,000 箇所積極的に開放しているが、業界ではもっと多くの場所が必要と考えている。
3. 5G が衛星地球局に干渉するという問題がある。現在、大埔とスタンレーは、衛星地球局は現在、3.5 GHz 帯域を使用しているので、干渉を避けるために、OFCA は大埔とスタンレーに制限ゾーンを設定して、この地域の 3.5 GHz 帯域で動作するモバイル基地局の開発を制限している。しかし、この制限区域は、香港中文大学や香港サイエンスパークでの関連研究開発作業や、70 万人以上の一般市民による 5G 通信の利用に影響を与える可能性がある。
4. 5G の設計は、必然的にサイバー攻撃やデータプライバシー侵害のリスクを高める。香港の現在の問題は、経験豊富なサイバーセキュリティスペシャリストの可用性ある。2018 年の IT 従事者 95780 人のうち IT セキュリティに従事者はわずか 1118 人(1.2%)であった。しかも、香港にはサイバーセキュリティ法も個人データ侵害の強制通知メカニズムもない。。コンピュータやインターネット関連の犯罪などの情報セキュリティの問題は現在、刑法の下で取り扱われている。

6) Covid-19 対応

[香港政府、14 日間の強制隔離に関する条例、来年 3 月 31 日まで延長 香港観光は依然遠く](#)
2020.12.11

香港政府は 12 月 8 日、入境規制、情報開示、マスク着用などを定めた 7 つの条例(第 599C 章～第 599I 章)について、今年 12 月 31 日までが有効だった期限を 2021 年 3 月 31 日まで延長することを決めた。これにより、第 599E 章(外国地区到港人士強制検疫規例)に定められている、外国から戻ってきた香港居民は 14 日間の強制検疫を受けなければならない条例は来年 3 月 31 日まで延長されることが確定した。香港は新型コロナウイルスの第 4 波の真ただ中で、日本も欧米も感染拡大がなかなか収まらないこともあり、このような措置に至った

[Latest Situation of Coronavirus Disease \(COVID-19\) in Hong Kong](#)

死亡者 167 人+1 人(2021.1.21)